

令和8年度 徳島県教育課程研究集会

小学校部会

令和8年7月23日（木）

於：徳島県立総合教育センター

<部会Ⅱ>の流れ

協議題

生成AIを活用した

魅力ある授業づくり

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～

11:00 - 11:02	日程説明
11:02 - 11:15	生成AI活用について
11:15 - 11:35	グループ協議
11:35 - 11:50	全体共有
11:50 - 12:00	まとめ

イントロダクション

ペアトーク (2～3分)

道徳科の授業の学びを深めるために、どんなAI活用が考えられますか？

今の時点のお考えで構いません。AI活用への期待、または悩みや困っていることなど、率直な思いをお隣の方と共有してみてください。

道徳科の目標と授業づくりの視点

◎ 道徳科の目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

Q 4つの特質

- 道徳的諸価値の理解を基に
- 自己を見つめる
- (広い視野から)多面的・多角的に考える
- 自己の(人間としての)生き方についての考えを深める

詳細は学習指導要領解説

特別の教科道徳編 文部科学省 (小 p16) (中 p13)

道徳教育の充実に向けた方策：『考え、議論する道徳』の実装へ

「要」としての道徳科と特別活動等の連携

「深い学び」の実現に向けた教材の在り方と指導方法の工夫

道徳科におけるAIとの向き合い方

「人間として生きること」や「人間としての価値判断と責任」が問い直され、自己を見つめ、生き方についての考えを深める道徳教育が一層重要になっているとの指摘がある。

「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン」 (Ver.2.0)

人間中心の原則 (AIは「人間の能力を補助、拡張する有用な道具」)

- ・ AIの出力結果はあくまで参考の一つ。鵜呑みにせず、人間が責任をもって判断します。
- ・ 「答え」を求めるのではなく、「足りない視点」を見つけ議論を深めるために活用します。

個人情報の保護と著作権の遵守

発達段階等に留意しつつ、「個人情報保護法等を遵守すること」や「著作権侵害につながるような使い方をしないこと」など、リスクや懸念に対策を講じた上で利活用することが求められています。

「考え、議論する道徳」の実装に向けた 学びの在り方について(2)

令和8年4月28日 道徳ワーキンググループ 配付資料より

- AIに異なる立場の意見を示させること等により、考えの多面化・多角化を促進する。

(留意事項)

- ・ AIの回答を正解として扱うのではなく、道徳的価値との関わりで批判的に吟味できているか。
- ・ **自分で考えた後で補助的にAIを活用するなど、迷いや葛藤を含め子供自身が考える機会が確保できているか。**

活用例①：自分にはなかった「視点」をもらう

🐾 AIは「第3の友達」

登場人物の気持ちを考える場面で、AIに「別の考え方」を聞いてみます。

意外な視点に「ああ、そんな気持ちもあるかも！」とひらめきが生まれます。



Geminiによる生成

実践例：「およげないりすさん」 出典：わたしたちの道徳小学校1・2年(文部科学省)

「3びきで遊ぶ時と、りすさんを入れた4びきで遊ぶ時との違いは何でしょう？」

子供たちの意見

- ▶ 3匹だと、みんな泳げる！
- ▶ 4匹だと、りすさんが泳げないから、工夫しないといけない。
- ▶ でも、やっぱりみんなで遊んだほうがいい。

意見が少し似通ってきた、あるいは出尽くしたタイミングで、「もう一人の友達、AIさん」に問いかけます。

価値の押し付けにならないプロンプト

🗣️ 先生のプロンプト（指示文）

× NG：「道徳的に良い答えを出して」

○ OK：クラスの議論を条件とし、別視点を要求

「今、クラスでは『3匹なら思い切り遊べる』『4匹なら工夫が必要』という意見が出ています。

彼らとは違う、2年生がハッとするような別の視点からの意見を一つ教えて」

🎭 AIの回答（第3の友達）

解決策（行動）ではなく、心情（心）の深まりにフォーカスします。

「さんびきだと、いつもどおり あそべてたのしいね。

でも、よにんになると、『どうしたらりすさんもわらってくれるかな？』って、やさしい きもちをつかう じかんが ふえるんだよ。

それは、みんなの ころろが ぐっと ちかづく、もっと すてきな じかんになるかもしれないね。」

💡 子供たちの道徳的価値への気づき

「そっか！がまんするんじゃないくて、りすさんの にこにこした かおが みたいから、みんなで いっしょに かんがえるんだね！」

AI活用は「価値の教え込み」になる？

(「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン」(Ver.2.0)を踏まえて)

答えは「**NO**」です。

むしろ、多面的・多角的な見方を引き出す有効な手立てです



「教え込み」にしないための2つのカギ

🕒 **タイミング**：子供たちが悩み、意見を出し尽くした「**後**」に使う。

(葛藤を奪わない)

⚖️ **扱い方**：「AIがこう言ってるから正しい」とまとめない。AIの意見を「**吟味の対象**」とし、最終的な判断は子供に委ねる。

活用例②：安全な場所で「試行錯誤」する

AIは「役者さん」

「正直に言いたいけど、友達を傷つけない…。」そんな葛藤の場面で、AIに相手役になってもらいます。

色々な言い方を試して、納得できる答えをシミュレーションします。

活用例③：思考の「偏り」を壊す

AIは「あえて反対を言う人」

- ・ 集団思考で意見が一つに固まりそうなとき、AIに「あえて反対の立場」を出させます。
- ・ 揺さぶりから、議論がより深く、本質的なものへと進化します。

学びを深める「パートナー」として

AIは正解を教える道具ではなく、子供たちが悩み、友達とぶつかり合い、考えを深めていくための「鏡」であり、「パートナー」です。

AIが瞬時に答えを出す時代だからこそ、人間らしく迷い、心で感じる道徳科の時間が、これまで以上に子供たちの生きる力になります。

🗨️ グループ協議

インプットから、アウトプットへ

📌 事前課題に基づく話し合い

御持参いただいた事前課題を基に、以下の2点について自由に情報交換を行ってください。

① AIを活用した授業実践例・アイデア

各学校・各学年の特性に応じた実践事例や、「こんな使い方をしてみたい」というアイデア。

② 活用に向けた課題や気になること

実践してみて気付いた壁や、これから活用を進める上で不安に感じていること・懸念点。

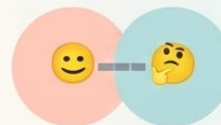


グループ編成

前の画面（座席表）のグループに分かれてお話しください。

協議時間

20分間



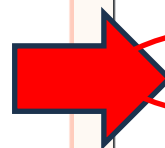
<部会Ⅱ>の流れ

協議題

生成AIを活用した

魅力ある授業づくり

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～



11:00 - 11:02	日程説明
11:02 - 11:15	生成AI活用について
11:15 - 11:35	グループ協議
11:35 - 11:50	全体共有
11:50 - 12:00	まとめ

<部会Ⅱ>の流れ

協議題

生成AIを活用した

魅力ある授業づくり

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～

11:00 - 11:02	日程説明
11:02 - 11:15	生成AI活用について
11:15 - 11:35	グループ協議
11:35 - 11:50	全体共有
11:50 - 12:00	まとめ

